クリニカルパスウェイ
慢性硬膜下血腫の手術を受ける患者さんへ

2015年12月17日作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	手術前	手術当日	手術後1日目	手術後2～6日	7日目（退院日）
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
目標	□手術を安全に受けらる様に全身状態を整えることが出来る	□手術を安全に受けることが出来る	□合併症を起こさず、日常生活動作を再獲得することが出来る	→	□日常生活での注意点が分かり退院することが出来る
食事	□21時以降絶飲食です	□絶飲食	□制限はありません	→	→
活動	□医師から指示があります ・車椅子 ・付添歩行 ・ベッド上安静	□手術後は頭の中にドレーン（細い管）が入って来ます □ベッド上で仰向けで安静となります 起き上がることもできません □医師の指示により車椅子可の場合もあります	□ドレーンが抜けた後、歩行することが出来ます □初回歩行時は安全の為、看護師が付き添います 場合によりその後も歩行介助させていただきます	□制限はありません □必要に応じてリハビリを行います	□過度な負担がかかるような激しい運動は避けてください。
検査処置	□術前検査があります ・採血、採尿 ・レントゲン ・心電図 ・体温、脈拍、血圧測定	□手術室で手術部位の髪を剃ります	□頭のCTと血液検査を行います □CTの結果を見てドレーンを抜きます □傷口は毎日医師が診察を行います	□手術後6日目に頭のCT検査と血液検査を行います	□傷口を止めていた縫合針を抜きます
薬	□内服があれば持参し、お知らせください □抗凝固薬の内服は医師の指示があるまで中止となります	□点滴を行います→	□持参薬がある場合は医師の指示により再開します	→	→
清潔			□身体を拭いて、着替えをします	□手術後4日目からシャワー浴が行え、洗髪も可能です ※傷口は強くこすらないように注意してください	→
指導説明	□医師より病状、検査結果、手術や今後の治療に関して説明があります	□頭痛や吐き気、手足の動かしづらさがある時はお知らせください	□歩行時は転ばないように注意してください	□CTの検査結果により医師が退院日を決定して行きます	□血圧をあげてしまう事（排便時のいきみ、ストレス、塩分の過剰摂取、飲酒、喫煙）を避けてください □退院後、頭痛や吐き気、手足の動かしづらさ、物忘れ、喋りづらさの症状が出現した場合は再発の可能性があるので早期に受診してください □発熱、傷口の腫れがある時は感染が疑われますので、同様に早期に受診してください